

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	板宿音楽堂児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 18日		～ 2025年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年 12月 18日		～ 2025年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 24日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の音楽活動を通じて、児童の可能性を発見し育てること。	楽器を通しての自己表現を育めるように、自発性を重んじています。児童も職員もともに楽しめるようにしています。	職員の音楽療法の知識を少しずつでも増やせるように工夫し、楽しみながら児童の可能性を育めるように努めます。
2	ジェンベ大会やクリスマスコンサートを恒例に開催し、児童の音楽表現の発表の場があることで、保護者様にお子様の成長を見ていただく機会があること。	児童の主体的参加を意識し、演奏参加だけでなく、企画できたテーマにそって、児童が製作物をつくるようにしています。それぞれの特性に応じて、無理なく参加できるように意識しています。	音楽を通じて、様々なお子様の成長を保護者様に見ていただけるように、公式ラインでの情報提供を心掛けたいと思います。
3	おやつクッキングやランチクッキングの日を設定し、児童の料理体験を通じて学ぶ機会があること。	児童のそれぞれの得意なことを増やせるように、ひとつひとつの作業を体験してもらっています。	けがや火傷に注意して、それぞれのできることから無理なく実施していくように心掛けます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に対して各種マニュアル等の周知や説明ができていないこと。	保護者様への必要な情報共有を整理して意識すること。	公式ラインを活用して、迅速かつ分かりやすい情報提供を心掛けたいと思います。
2	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)が弱い。	時間的な制約の中で、先延ばしになりがちであること。	職員間での報連相(報告・連絡・相談)を意識して、小さなことの積み重ねで改善を心掛けたいと思います。
3	外部機関とのつながりをもつ機会が少ない。	時間的な制約の中で、先延ばしになりがちであること。	児童館等の情報を取り入れていくことで、地域交流の機会を検討したいと思います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	板宿音楽堂児童デイサービス
------	---------------

公表日 2024年1月28日

利用児童数 2024/1/24 15名

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	1	4	中をしっかりとみたことがない。	公式ラインでの写真報告を活用します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	3	2	3	中をしっかりとみたことがない。 メンバー不足のように感じます。	契約時、モニタリング面談時にご理解いただけるように都度説明します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	3	0	6	中をしっかりとみたことがない。	療育ルーム単いす等のバリアフリーには対応できていますが、玄関の段差のスロープは未設置であるため、職員が安全に対応をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	2	0	6	中をしっかりとみたことがない。 すこしごちゃごちゃした感じ。	整理整頓を心掛け、終業後の清掃、消毒を引き続き実施します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	3	0	2		個々の特性に応じた支援の継続のために、職員の資質の向上に努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	5	日々のプログラムがわからないが、 参加できている。	公式ライン等活用して、情報提供をします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	2	0	3		個々のニーズに応じた支援計画の作成を心掛けます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	3	0	3	個別支援計画書を読み、理解できた。 これからも支援よろしくをお願いします。	放課後等デイサービスガイドラインにそって支援内容を設定するように心掛けます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	3	0	2	具体的にどういったことをしたのか 把握していません。	日々の活動の中での支援内容が分かりやすく伝えられるように心掛けます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	3	0	4	具体的にどういったことをしたのか 把握していません。	児童が楽しめる支援を心掛けます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	4	5	イベントがあるので。	ニーズに応じて対応するように検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	3	1	1		契約時、モニタリング面談時にご理解いただけるように都度説明します。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3	3	5	2	そういった機会はありませんでした。	契約時、モニタリング面談時にご理解いただけるように都度説明します。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	7	1	家族参加のクリスマスコンサートが、事業所であればうれしいです。	ニーズに応じて対応するように検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	3	0	0	よくいただいています。	公式ラインでの情報共有を基本に、送迎時にも報告等心掛けます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	4	6	0	事業所全体の視点では支援は少ないが、 個々のスタッフからは手厚く支援いただ いています。	ニーズに応じて対応するように心掛けます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	4	0	2	声掛けが本当にありがたいです。	ご本人、ご家族の気持ちを大切にできるように心掛けます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	7	3		ニーズに応じて対応するように検討します。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	4	1	3		ご本人、ご家族の相談、を申し入れを気軽にいただけるように心掛けます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	4	0	2	送迎の時に話をしてくれます。	公式ラインを活用して情報提供を心掛けます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	2	1	4	日々の活動の報告は、公式ラインで写真を送ってくださるので、うれしいです。	情報発信をより充実するように心掛けます。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2	1	1		個人情報の取り扱いをさらに意識するように心掛けます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	1	9	書面をいただきたいです。	策定したマニュアルの情報共有に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その必要な訓練が行われていますか。	1	1	0	11	利用日が少ないのでわからない。	訓練の実施後の情報共有を心掛けます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1	0	8	中での活動をみたことがない。	契約時、モニタリング面談時にご理解いただけるように都度説明します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1	1	6	その状況になったことがないので、いつも見ていただいています。経験なしです。	速やかに連絡、対応するように努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	4	0	1	日によって、行きたいときと行きたくない時がある。	安心できる場所を提供できるように心掛けます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	5	1	1	日によって、行きたいときと行きたくない時がある。	楽しく参加できるプログラムを心掛けます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	5	1	0	文句をあまり言いません。	ご本人、ご家族のニーズに寄り添っていただけるように心掛けます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
板宿音楽堂児童デイサービス		2024年1月28日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	イスや机の配置等を考えて、児童が落ち着ける場所をつくっています。	児童の日々の気持ちに寄り添いつつ、固定化しないように心掛けます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	それぞれの児童の特性を把握し、見守りを行っています。	児童の日々の気持ちに寄り添いつつ、固定化しないように心掛けます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	送迎時等のカギの開け閉めがスムーズに行えるように外付けのカギを導入しました。	児童が自主的に設備をつかえるように工夫を心掛けます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	フリースペースを広くとって、活動の種類を増やせるようにしています。	整理整頓を心掛けて、心地よい環境を提供できるように心掛けます。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	児童のその日の気持ちに合わせて、個別のスペースやカーテンでの仕切りを準備しています。	整理整頓を心掛けて有効活用できるスペースを確保します。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	報連相を意識して共有することをしていません。	スピーディに対応して、PDCAサイクルを活用するように心掛けます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	今のところは、設けていません。	個別の意向を気軽に伝えていただけるように心掛けます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	報連相を意識して共有することをしていません。	スピーディに対応して、PDCAサイクルを活用するように心掛けます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	意見をいただいたときは、改善につなげるように意識しています。	現在、完全な第三者外部評価は未実施となっているため、導入の検討中です。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	虐待・身体拘束防止研修、感染症予防研修等実施しています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	2	個々と全体の状況に合わせた療育プログラムを自発管を中心にスタッフ全体で考案しHPIに公表しています。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	本人主体で個別支援計画書を半年に一度の見直しを基本に実施しています。		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	出勤が少ない職員との情報共有が弱い部分があるため、社内SNS等での共有に努めています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		アセスメントシート、ケース記録システム等の活用を職員間で共有するように心掛けます。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	放課後等デイサービスガイドラインのそれぞれの狙いや支援内容をふまえて、支援内容を設定するように意識しています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	情報共有システムとしてクラウドの活用をしています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	2	日々の児童の状況に応じた支援活動を心掛けています。		
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	児童の特性をふまえて、状況に応じた個別活動と集団活動を行っています。		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	LINEグループを活用し、情報共有をしています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	2	送迎があるため、LINEを活用して情報共有をしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	日々の児童の活動状況のケース記録の入力を行い、支援の検証・改善に活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	2	定期的なモニタリングを6ヶ月ごとに行い、適切な見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	2	音楽活動を通しての自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会を設けています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	自己選択の機会を設けて、児童が自発的な取り組みができるようにしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	関係機関との会議には、児童の状況をよく理解した職員が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	基本的に関係機関とは連携した支援に努めています。	今後も必要な際は各機関との連携を意識的に構築・実施を心掛けます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	学校との情報共有を行い、連絡調整も適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	必要に応じて、就学前の事業所等との情報共有や相互理解を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	必要に応じて、卒業後の障害福祉サービス事業所との情報共有や相互理解を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		今後、定期的なスーパーバイズの機会の実現を検討します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	4	現在はそのような機会がありません。	利用者・保護者とのニーズのすり合わせも行い、適切な対応を検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時等の機会を活用して、保護者との情報交換と児童の共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		ニーズに沿って情報提供をしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	契約時に、支援プログラムや利用者負担の説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	アセスメントの段階より本人とその家族主体のニーズに沿って、サービスの提案を心掛けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	定期的に個別支援計画書の見直しを行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	必要に応じて対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	3		ニーズがあれば機会をつくれるように検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	苦情をお聞きした場合には、迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	3	HPやSNSを活用して法人全体の活動を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	音楽活動を通しての自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会を設けています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	意思の疎通がわかりやすく的確であるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	大型音楽発表イベント等、近隣住民の無料参加ができています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルを策定し、避難訓練（地震・火災）を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	契約時に、服薬状況、てんかん等の確認や情報を提供していただき、確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	現在は該当者がいません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	安全確保に関して、ご家族との連携は行うように努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	定期的な虐待防止研修会を実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	2		やむを得ない状況が発生した場合には、十分に説明し了解を得ていきます。